

設立経緯

2018年12月

科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律が成立

2019年01月

科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律が施行

2019年05月

新法人設立に関する出資申請を理研から提出

2019年09月

文部科学省による出資認可

2019年09月

株式会社 理研鼎業 設立

2019年12月

理化学研究所からの業務委託開始

RIKEN Innovation

Intellectual Property & Licensing
Start-up Business Incubation
Corporate Collaboration



RIKEN Innovation

株式会社理研鼎業は、

国立研究開発法人理化学研究所（理研）が推進する産業連携・イノベーション事業を牽引するため理研の100%出資により設立された会社です。

理念

私たちは、研究成果の社会実装・産業創出を支援・加速することにより、まだ見えぬ水平線の向こうに豊かな社会を実現させます。

研究成果を社会実装に導くリーダーを目指します

目的

理研の基礎研究の成果をいち早く社会的価値に還元します。

- 理研に蓄積された研究成果の戦略的発掘、権利化、ライセンスング
- 理研のシーズから新たな社会的価値を創出するスタートアップの支援
- 理研が産業界とビジョンを共有し新産業創出を目指す協創を支援



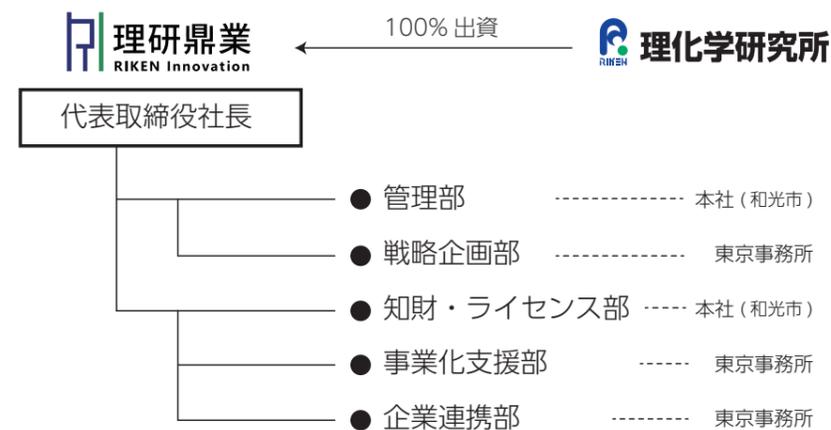
事業概要



私たちは、理研の最新の研究情報を熟知した各技術分野のコーディネーターです。

理研の研究成果の早期社会価値化を目指し
知財・ライセンス、事業化支援、企業連携、の事業を推進します。

組織



主な事業内容



知財・ライセンス

Intellectual Property & Licensing

事業化支援

Start-up Business Incubation

企業連携

Corporate Collaboration

ビジョンの共有

産業界とビジョンを共有し新産業創出を支援します。

知的財産の権利化

研究成果の権利化を支援します。



産業界への提案

社会の発展を駆動する理研の研究成果を産業界に提案します。

ライセンスの交渉

企業へ向け、理研の知的財産権のライセンス紹介、および契約交渉します。

スタートアップの支援

研究成果を活用したスタートアップの起業までの支援（起業環境の醸成・ビジネスプランの策定等）と、起業後のパートナーリングなどを支援します。

Topics
01

実用化プロジェクトのコーディネート



理研の研究成果の実用化を目指すコンソーシアムや技術研究組合等のプロジェクトを、設立から運営までコーディネートします。また、企業との共同研究を通じた社会実装やスタートアップへの展開等を支援します。

Topics
02
Topics
03

実用化に向けた資金獲得支援

理研の研究成果の実用化に必要な競争的資金やスタートアップに必要なベンチャーキャピタルからの資金獲得を支援します。

かなえ共創の運営

主に中堅・中小企業を対象とした、企業連携の価値を実感いただくことを目的とした会員制サービスを提供します。

Topics
04

事業事例

Topics 01 スタートアップ支援

「株式会社ランズビュー」設立支援

ランズビューは、理研の中性子線によるインフラの非破壊検査を実施する会社です。落橋事故の三大要因の一つである塩害を未然に防ぎ、予防保全を目指すために理研が開発した中性子塩分濃度計測装置「RANS- μ 」やインフラ非破壊検査の事業展開を担っています。理研鼎業は1年以上に渡り、理研の技術の社会実装を実現する事業化支援を行い、2023年4月3日に設立に至りました。設立後はパートナーリングの支援など、社会実装に向けたさらなる支援を進めます。

Topics 02 実用化プロジェクト支援

「分散型水素システム」社会実装研究会

理研の分散型水素システム技術に関して研究成果の社会実装を推進するにあたり、情報・意見交換、実証実験企画、ライセンス、ベンチャー立上げ等を行うイノベーションプラットフォームとして本研究会を設置しました。研究会は、理研と理研鼎業が中核となり、事業化意欲のある企業、大学・研究機関等で構成されます。

「分散型水素システム」
社会実装研究会 HP ▶▶



Topics 03 実用化プロジェクト支援

NEDOムーンショット型研究開発プロジェクト

本プロジェクト「電気化学プロセスを主体とする革新的CO₂大量資源化システムの開発」では、大気中に放散された希薄なCO₂を、オフィスビルなどの強大な換気機能等を活用して、物理/化学的手法により回収・富化し、再生可能エネルギーを駆動力とする電気化学プロセスにより還元資源化する統合システムを開発します。

「電気化学プロセスを主体とする
革新的大量CO₂源化システムの開発」
プロジェクト HP ▶▶



Topics 04 かなえ共創

理研の最新研究情報を発信

「かなえ共創」は会員制サービスです。理研の最新の研究情報をお届けするセミナー、会員企業間の交流を目的としたワークショップや交流会など、さまざまなイベントを提供いたします。

お問い合わせ kanae@innovation-riken.jp

かなえ共創

【会員募集中!!】
入会お申込みフォーム ▶▶



社長あいさつ

株式会社理研鼎業は、理化学研究所（理研）の産業連携機能を引き継ぎ、2019年12月より事業を開始しました。理研の最新の研究情報を熟知した各技術分野の専門コーディネーターを配置し、産業界の動向やマーケットの情報を積極的に取り込み、発展、充実させ、産業界に向けた理研窓口として尽力しております。理研の研究者が日々進めている研究について、「社会価値への還元」、「組織対組織の連携促進」を目標に掲げ、業務プロセスの最適化を見極め、「知財・ライセンス」・「事業化支援」・「企業連携」機能を柔軟かつ横断的に連携させてまいります。

理研は、自然科学の総合研究所として幅広い分野において先導的な研究を推進しており、また専門領域を超えた分野横断的な連携研究活動も活発に行われています。昨今の第4次産業革命、あるいはSociety5.0と言われる大きな社会変革期において、これらの先導的、分野横断的な研究活動は新たなイノベーションに繋がる大きな可能性を秘めております。理研鼎業はこの理研のポテンシャルを開放し、イノベーション実現に貢献するために全力で取り組んでまいります。

皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



代表取締役社長
油谷 好浩

会社概要



社名：株式会社理研鼎業(りけんていぎょう)

設立日：2019年9月5日

代表者：油谷 好浩

所在地：【本社】

埼玉県和光市広沢 2-1 (理化学研究所内)

【東京事務所】

東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目

三井ビルディング 19階(COREDO 日本橋)

本社（埼玉県和光市）



東京事務所（日本橋）



社名について



“鼎(かなえ・てい)”は古代中国において3本脚の金属製の器、祭器を意味します。”鼎談”や”鼎立”などにみられるように、3という数を表す漢字としても用いられます。理研鼎業の『鼎』は、“経営・技術・社会貢献”の3つを基軸として、我が国のイノベーション創出に貢献するという意味が込められています。